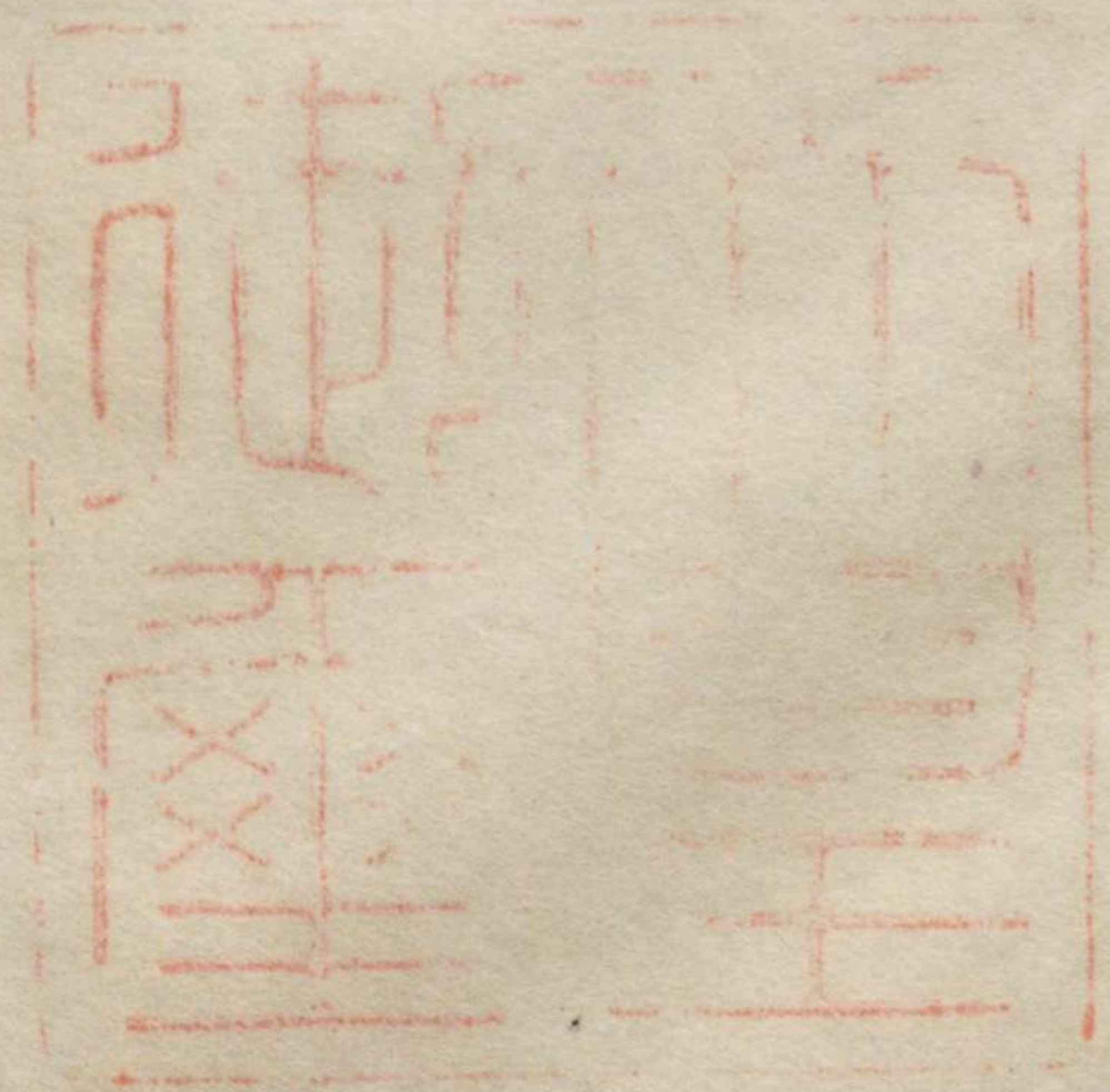
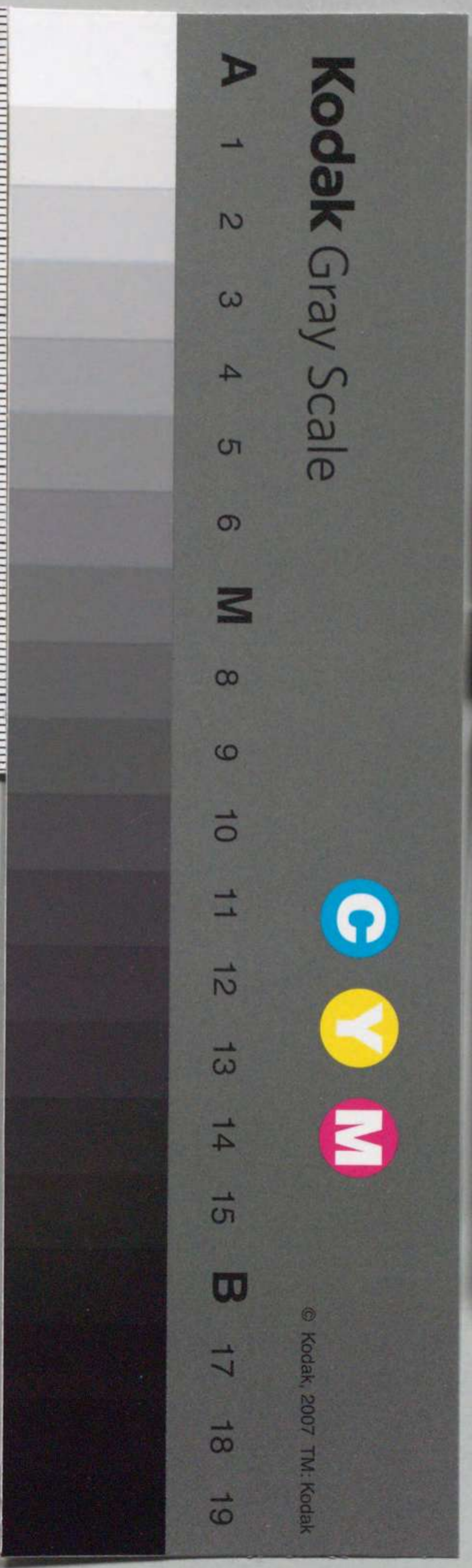


十月十六日
勅



多
方
月

朕東洋ノ治平ヲ維持シ帝國ノ安全ヲ保
障スルヲ以テ國交ノ要義ト爲シ夙夜懈
ラス以テ皇猷ヲ光顯スル所以ヲ念フ不
幸客歲露國ト鬪端ヲ啓クニ至ル亦寔ニ
國家自衛ノ必要已ムヲ得サルニ出テタ
リ開戦以來朕カ陸海ノ將士ハ内籌畫防
備ニ勤メ外進攻出戦ニ勞シ萬艱ヲ冒シ
テ殊功ヲ奏ス在廷ノ有司帝國議會ト亦
善ク具ノ職ヲ盡シテ以テ朕カ事ヲ獎メ
軍國ノ經營内外ノ施設其ノ緩急ヲ愆ラ



ス億兆克ク儉ニ克ク勤メ以テ國費ノ負
荷ニ任シ以テ費用ノ供給ヲ豐ニシ舉國
一致大業ヲ贊襄シテ帝國ノ威武ト光榮
トヲ四表ニ發揚シタリ是固ヨリ我カ皇
祖皇宗ノ威靈ニ頼ルト雖抑亦文武百僚
ノ職務ニ忠ニ億兆民庶ノ奉公ニ勇ナル
ノ致ス所ナラスムハアラス交戦二十閱
月帝國ノ地歩既ニ固ク帝國ノ國利既ニ
伸フ朕ノ恒ニ平和ノ治ニ汲々タル豈徒
ニ武ヲ窮メ生民ヲシテ永ク鋒鏑ニ困マ

シムルヲ欲セムヤ
嚮ニ亞米利加合衆國大統領ノ人道ヲ尊
ヒ平和ヲ重スルニ出テテ日露兩國政府
ニ勸告スルニ講和ノ事ヲ以テスルヤ朕
ハ深ク具ノ好意ヲ諒トシ大統領ノ忠言
ヲ容レ乃チ全權委員ヲ命シテ具ノ事ニ
當ラシム爾來彼我全權ノ間數次會商ヲ
累テ我ノ提議スル所ニシテ始ヨリ交戦
ノ目的タルモト東洋ノ治平ニ必要ナ
ルモノトハ露國具ノ要求ニ應シテ以テ

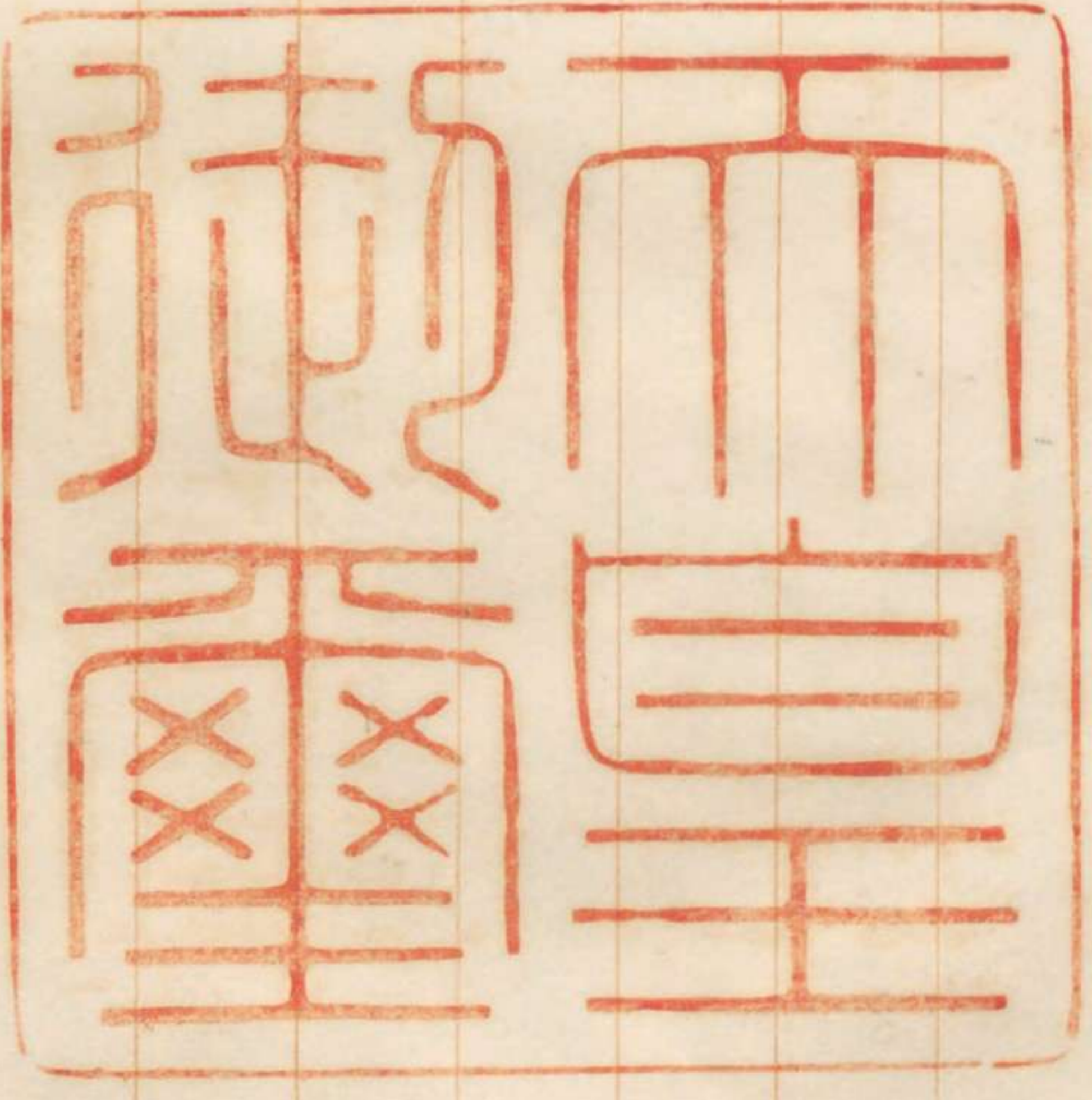
和好ヲ欲スルノ誠ヲ明ニシタリ朕全權
委員ノ協定スル所ノ條件ヲ覽ルニ皆善
ク朕カ旨ニ副フ乃チ之ヲ嘉納批准セリ
朕ハ茲ニ平和ト光榮トヲ候セ獲テ上ハ
以テ祖宗ノ靈鑒ニ對シ下ハ以テ丕績ヲ
後昆ニ貽スヲ得ルヲ喜ヒ汝有衆ト具ノ
譽ヲ偕ニシ永ク列國ト洛平ノ慶ニ賴ラ
ムコトヲ思フ今ヤ露國亦既ニ舊盟ヲ尋
テ帝國ノ友邦タリ則チ善隣ノ誼ヲ復シ
テ更ニ益ニ敦厚ヲ加フルコトヲ期セサル

ヘカラス
惟フニ世運ノ進
外ノ庶政ハ一日ノ懈
ス偃武ノ下益ニ兵備ヲ修
教ヲ張り然レテ後始テ能
ヲ無疆ニ保チ國家ノ進運
スヘレ勝ニ紐レテ自ラ裁抑
ス驕怠ノ念從テ生スルカ
ヲ戒ノサルヘカラス汝有衆
カ意ヲ體シ益ニ其ノ事ヲ勤
ノ益ニ其ノ業ヲ



勵以テ國家富強ノ基ヲ固クセムコト
ヲ期セヨ

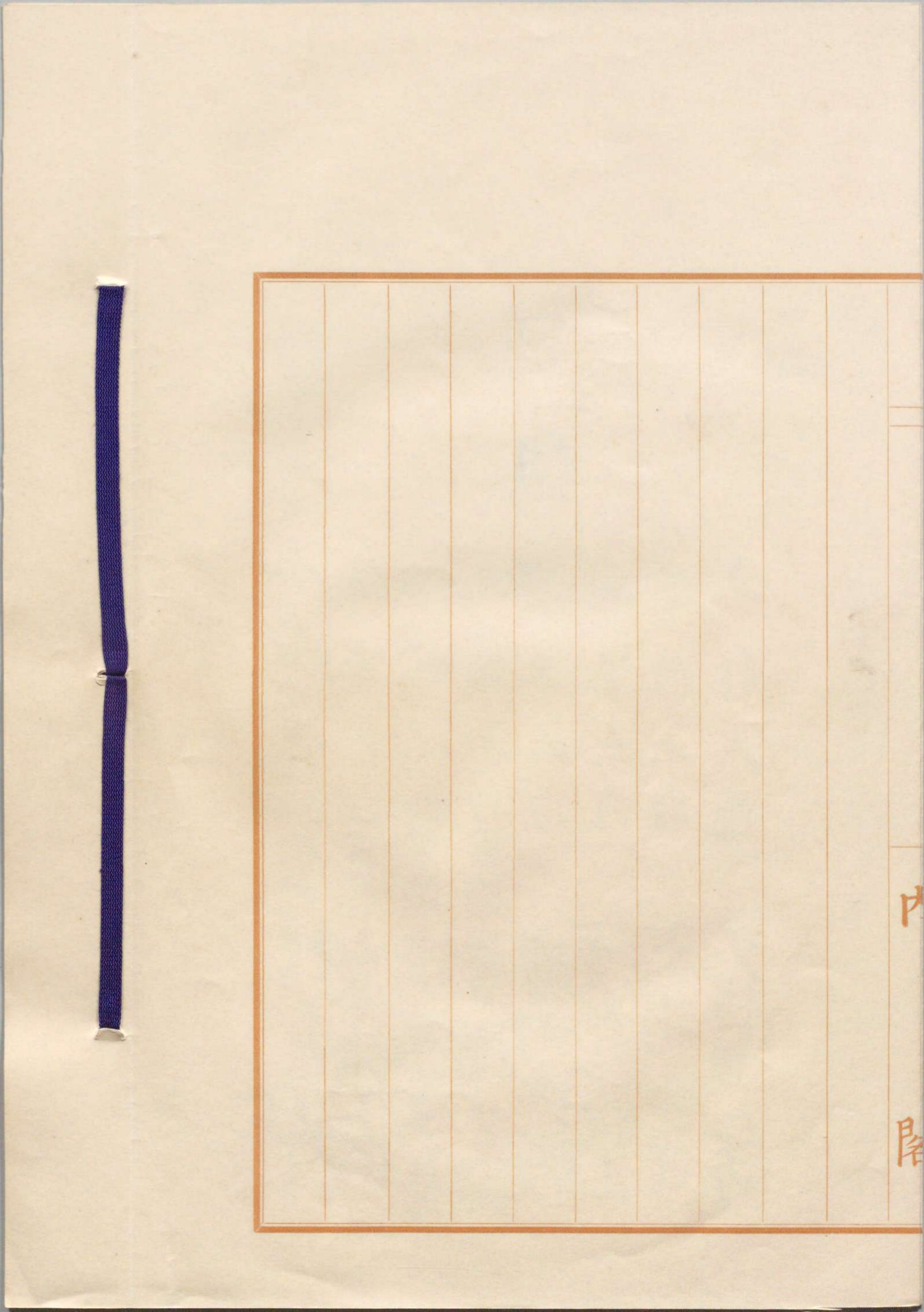
睦仁



明治三十八年十月十六日

内閣總理大臣 兼伯爵	桂	太	郎
外務大臣	山	本	權
海軍大臣	清	浦	奎
農商務大臣 兼男爵	曾	補	荒
大藏大臣	曾	補	荒
陸軍大臣	寺	内	正
司法大臣	波	多	野
逓信大臣	大	浦	兼
文部大臣	久	保	用
	謙		

内閣
閣



内

陸